

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		自閉症療育センターLink		公表日		2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1時間のセッションに最大3名の利用者とその家族が来室するため、スペースとしては広い。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1組のご利用児とその家族に1名の専任のスタッフで対応している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	勤務形態により、その場で参加できない職員もいる。後日口頭で伝えるようにしている。	参加できる日時の調整や、インフラの活用により、できるだけ参画できるように心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			2025年3月現在、第3者委員は設けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○			活動プログラムについては、個々の担当者が立案している。その日の活動活動プログラムを担当者どうして確認する事を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		必要や役割分担については毎回確認している。活動内容については、どのような流れで行うかについて確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		個別の支援療育機関のため、日々の振り返りは行っていないが、スタッフ会議にて情報の共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			意思決定支援を重んじ、表出コミュニケーションのツールを使用しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○		ケースによる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。					保護者同伴で通所頂いており、送迎サービスは行っていません。年間計画は保護者を通じてケースにより共有して頂いています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○			ケースによります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。					小学校6年生までが対象の事業所です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○			近隣地域との交流はない。事業所の役割に合わせ、必要に応じて検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○			児童の部がありません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				3月の決定者向けの説明会にてすべて説明しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		保護者同伴の療育事業所であることから、発信は行っていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所で行事を行っていないため、招待などの機会がない。今後必要に応じて検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				事業所で食事の提供を行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	自閉症療育センターLink		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の専門性	職員研修 スタッフミーティング	様々な雇用形態の職員のための、知識技能の習得 専門性を生かしたケースの検討や情報共有
2	個々に合わせた個別の支援・個々に合わせたアセスメント		
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報周知のインフラ	保護者同伴のため、SNSなどを使っての情報発信は行っていない。避難訓練についても、事業所の特色から、職員の実施となっている	情報の所在を周知する。
2	活動スペース	活動ごとに部屋を分けているので、スペースが狭くなっている。	事業所の特色に合わせた課題の設定を行う。できる限りスペースを広くとれるよう、活動内容を再検討し、活動数に応じた個別のブースを作成する
3			



公表日:2025年3月31日

保護者数(児童数):33名 回収数33名 割合 100%

事業所名:自閉症療育センターLink

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	8	1	・少し狭いかなと思います ・仕方がないことですが狭いです ・もう少し広さがあると有難いです ・3人同時で子ども同士がバッティングすることが時々ありました	活動に合わせて、他のフリースペースを使用するなど検討を図ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	1		・専門的な意見をいただけることが本当にありがたい。他のデイの先生もそれなりに理解はあるが、リンクの先生の回答が一番心にしみます	引き続き、専門的な知識技能の構築に努めます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	25	8			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	33				
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	33				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	12	15	・障害のない子どもと活動する必要はないと考えています ・勝ち負けにこだわったり自分の好きな遊びでみんなが遊ばないと怒ったりします。そのような部分の支援があると良いと思います ・ここはそういうことをする施設ではないので交流はなくていいです	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	33				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	7	7	・リンクでの活動は素晴らしいので日常生活に汎化することを次の課題にさせていただいたらさらに子どもの世界が広がると思います ・いつも子どものことについて親身に考えてくださり療育中にも困ったことに対して適切な意見をくださるので、悩みが早めに解決されて私の心の余裕にもつながっています。その場で解決できずとも次につなげて話をしてくださっている ・療育中でも悩みなどを相談できて心強いです	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	7			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33			・制度を整えてくださっているのは有難いです	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31	2		・わからない	法人の機関紙にて、活動内容については報告させていただいております。
14 個人情報に十分注意しているか	32	1				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25	7	1	・わからない	3月に実施した「決定者説明会」にて、各種マニュアルについてはご説明させて頂いております。また、閲覧用の本棚に、マニュアル等設置しております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	10	3		職員の避難訓練を月1回実施しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	32	1			
	18 事業所の支援に満足しているか	32	1		年間スケジュールが先に決められているので振替ができなく不便な面もあった。また、一度も児発管が子どもの様子を事業所内で見ることがなかったのは不思議だった	療育スペースの兼ね合いや、子どもの特性に合わせて、事務所待機させて頂く場合があります。療育前後のスタッフミーティングでお子さまの様子については職員同士で把握しております。今後はお顔合わせも含め、より真摯に対応させていただきます。

